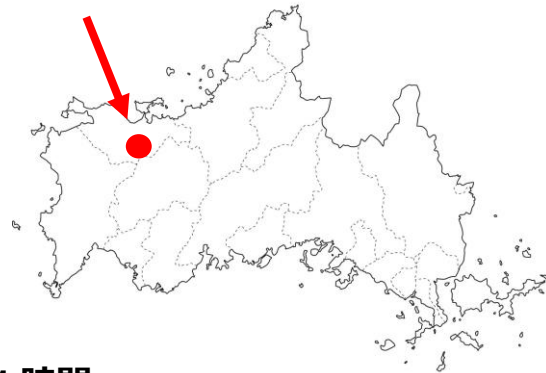


AREA

山口県長門市深川湯本「長門湯本温泉」



- 新山口駅から車で1時間
- 山口宇部空港から車で1時間
- 福岡博多から車で2時間



オソト天国



川床テラス



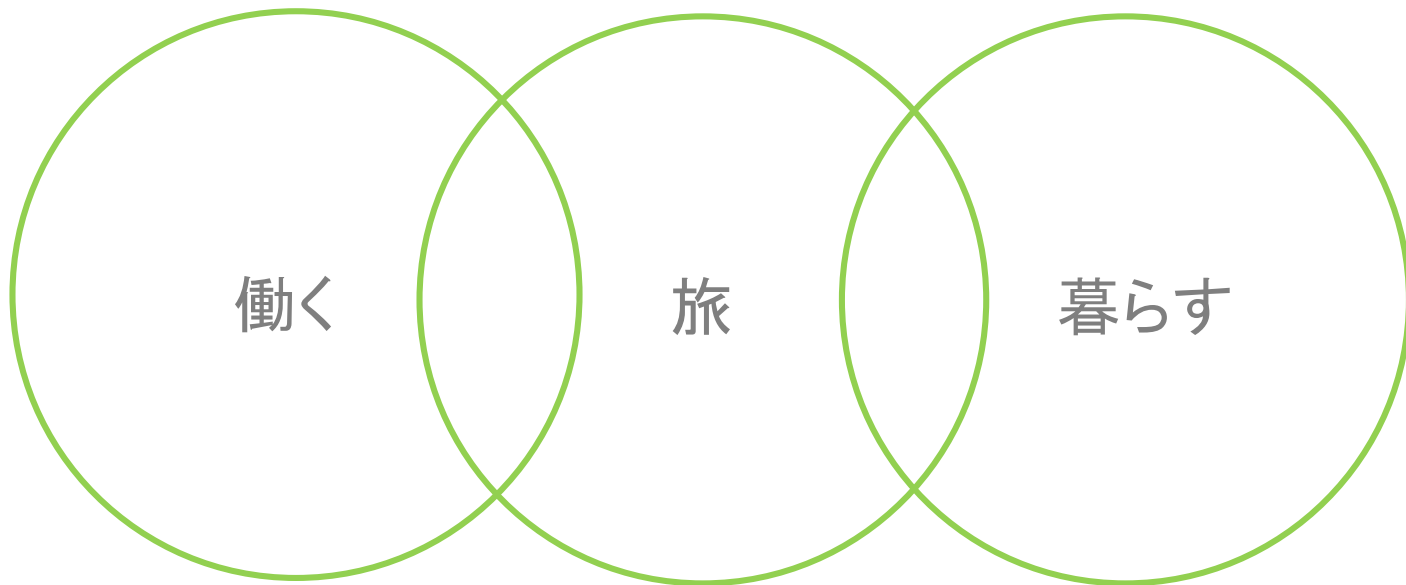
神授の湯



幻燈のまち



観光を消費から共感へ
これからの旅と暮らしを長門湯本から



長門湯本温泉街

= 働くこと、暮らすこと、旅することが緩やかにつながる共有の空間と体験の連鎖



この場所を子どもたちに残せるのだろうか

昭和初期



昭和20年代



昭和30年代

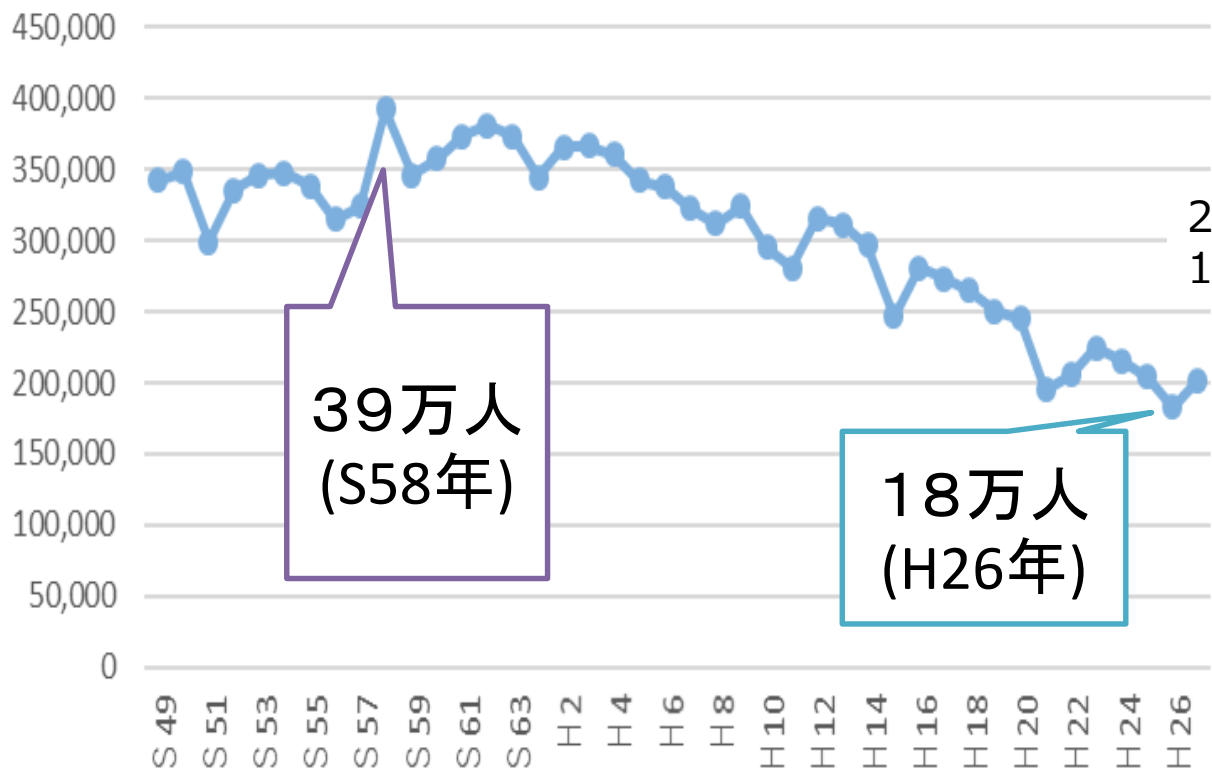


昭和40年代



昭和50年代

長門湯本の宿泊者数の推移（人）

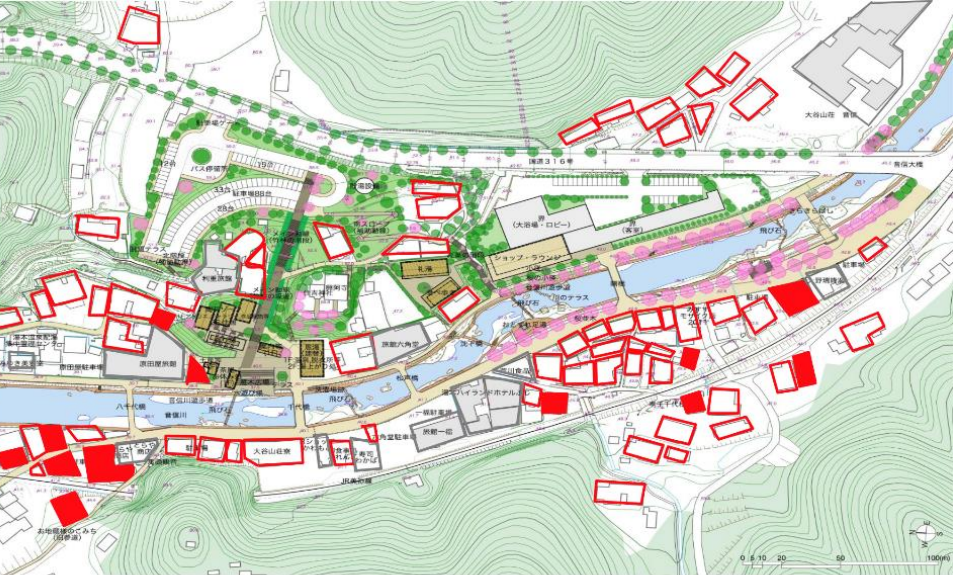


2014年1月
150年の歴史を有する老舗ホテルの廃業



2016年4月
星野リゾート 進出協定

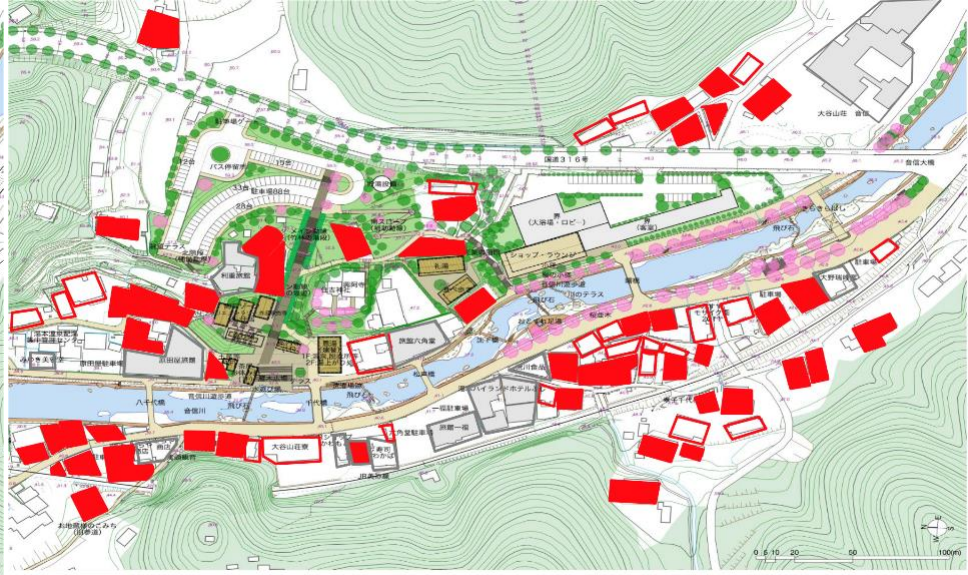
長門湯本温泉の空き家マップ



空き家

- H29.7.10時点で居住が無い状態の物件を空き家とした
- 居住の有無は近隣の聞き取りによる

2017年



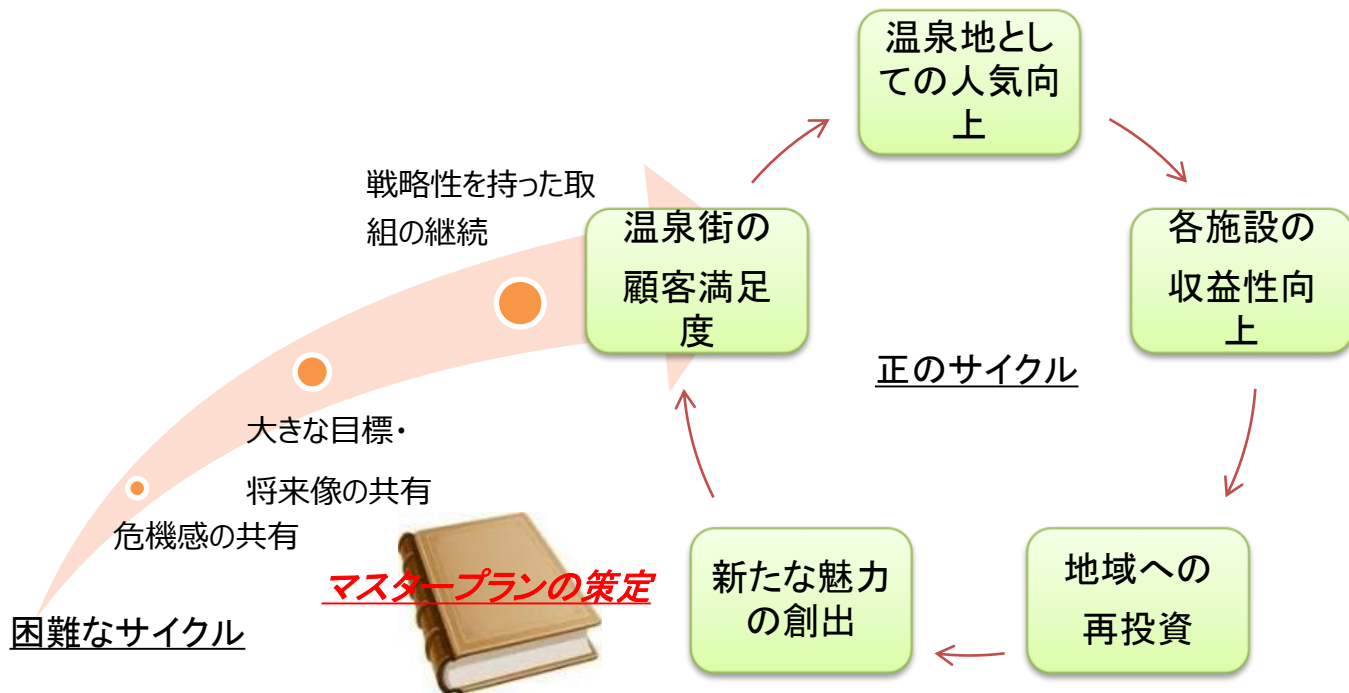
空き家

- H29.7.10を基準として20年後の住居人の年齢が平均年齢(男性80歳、女性87歳)以上の場合は空き家とした
- 住居人は現在の世帯構成員のみで判断(世帯主の年齢の推移が停っていない前提)
- 旅館や商店の存続は経営判断によるため現状のままとした

2037年

わかりやすい目標と危機感の共有

- ◆マスタープランの策定を通じて危機感を共有とともに大きな将来像を共有する。
- ◆加えて、しっかりとした戦略性を持ち、正のサイクルを生み出す温泉街に再生を目指す。









プロジェクト前後での変化【道路・河川一体での再編】

2016年



2020年～



プロジェクト前後での変化【道路・河川一体での再編】

2016年



2020年～



プロジェクト前後での変化【夜間景観】

2016年



2020年～



プロジェクト前後での変化【リノベーション】

□パイロットプロジェクトとなったcafe&pottery音の開業(2017年)に始まり、
20年新規店舗の無かった温泉街に**15軒の新規事業**が開業



崩壊しかけていた建物を飲食&シェアキッチンに



シェアサイクル事業がスタート



クラフトビール醸造所&タブルーム



長門湯本温泉のオリジナル土産も企画販売



大阪の有名バーテンダーがBAR開業



川沿いのレンタルスペース&カフェ



地元飲食店オーナーの娘さんが開業



地域住民へのシェアハウスお披露目イベント



地域のメンバーによる初めての事業プロジェクトをセルフリノベーションで実現
周辺環境が整うのを待たず、若手自身で新たな場を生み出す



住民も倉庫を改造して起業



複数の案件の工事に学生が参画

プロジェクト前後での変化【シンボル外湯・恩湯】

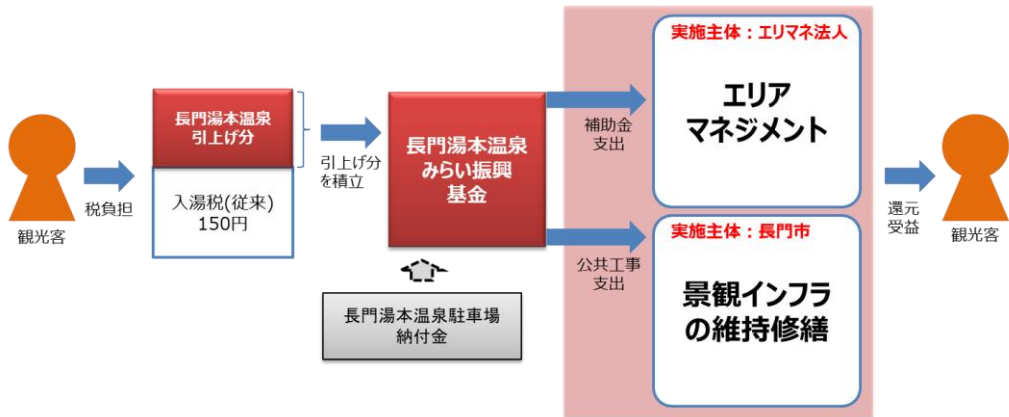
2016年



2020年～



入湯税によるエリアマネジメントと外部評価委員会



1	國學院大学	梅川 智也	学識経験者
2	(株)ディスカバージャパン	高橋 俊宏	メディア
3	熊本大学大学院	田中 智之	建築・空間デザイン
4		中尾 大介	まちづくり・金融
5	旅ジャーナリスト	のかたあきこ	ジャーナリスト
6	Q0	林 千晶	コミュニティデザイン
7	星野リゾート	星野 佳路	観光業



ワークショップ・社会実験



85回



専門家会議

推進会議 (意思決定会議)

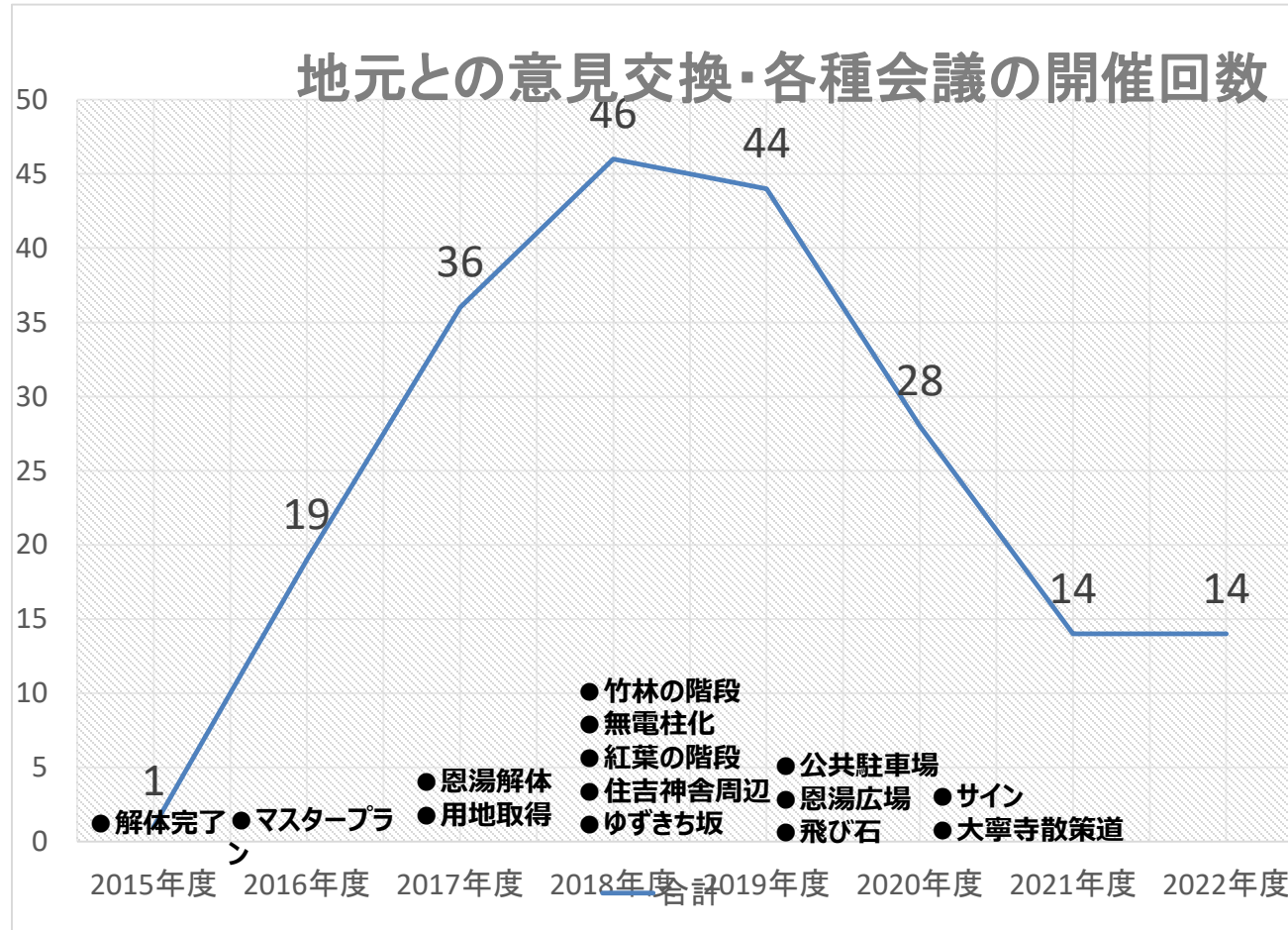


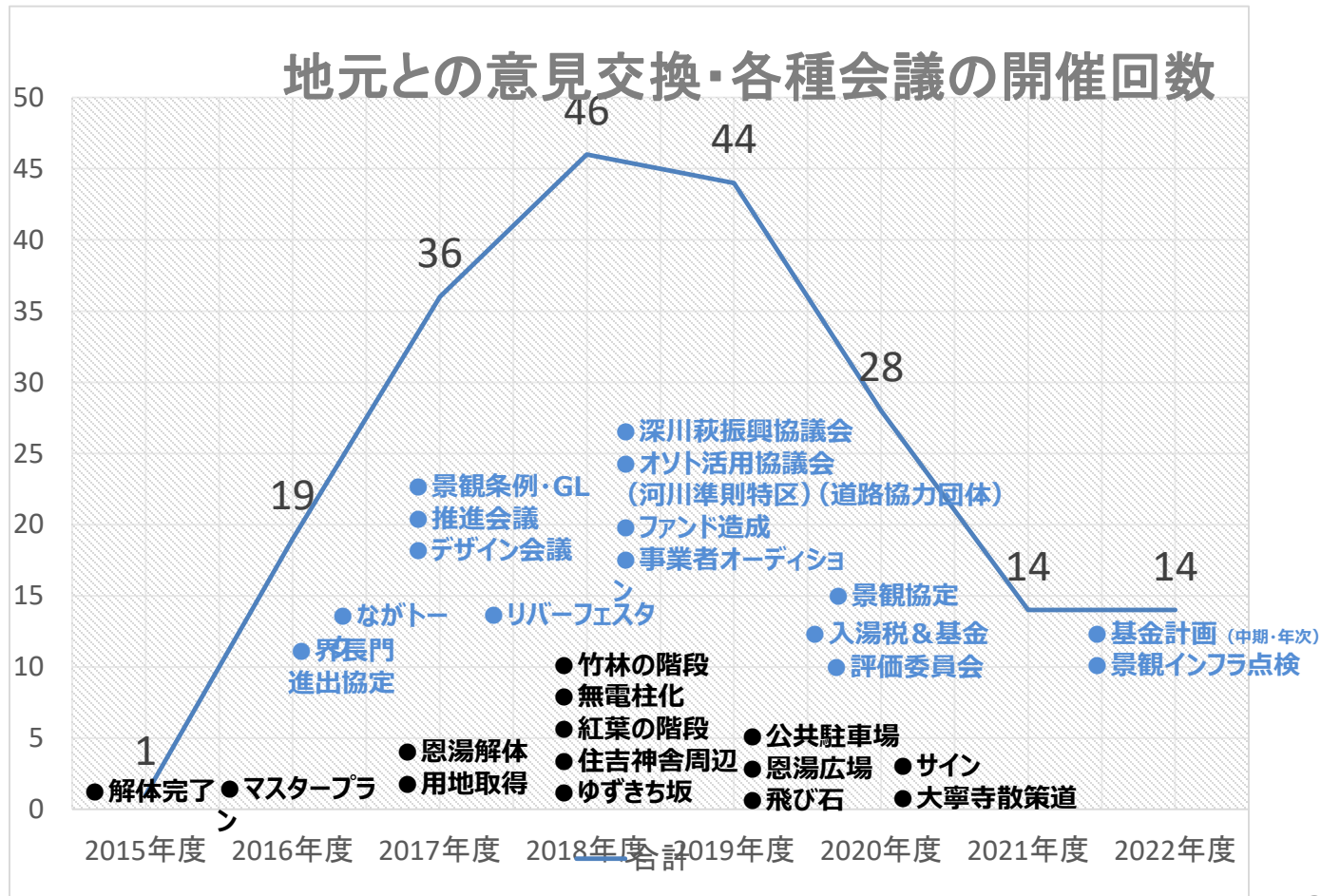
55回

10回

※2020年度までの合計

●インフラ投資





プロジェクトの推移【インフラ投資 + 仕組み + 民間事業】

